

## 第3回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

### 【1】開催

日 時 平成21年11月28日（土） 午前10時～午前11時50分  
場 所 稲毛区役所 3階 講堂  
出席者 委員24人（34人中）、ガイドヘルパー2人、  
事務局10人（稲毛福祉事務所長、稲毛福祉サービス課4人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所3人）、市保健福祉総務課2人

### 【2】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）千葉市地域福祉計画推進協議会の報告について  
（2）第1回稲毛区地域福祉計画推進協議会作業部会の報告について  
（3）稲毛区地域福祉計画の取組状況について  
（4）その他
- 4 閉会

### 【3】議事の要旨及び発言要旨

#### 議題（1）千葉市地域福祉計画推進協議会の報告について

第5回千葉市地域福祉計画推進協議会が11月4日に行われ、稲毛区の取組状況報告を行った。

事務局で表形式にまとめたものに従い「区地域福祉の実践状況について」の報告を以下のとおり説明した。

- ・各項目の地域福祉の具体的な実践状況を調査した結果を事務局で表形式に表したものをもとに報告が行われた。
- ・各区の基本方針、取組項目が違っているため、比較しやすい項目として10の類型取組状況に置き換えて表を作成した。
- ・左側には、各区で実践が確認されている取組状況を、右側には、実践が確認されていない取り組み項目が記載されている。

#### 資料2枚目について

- ・各委員より報告のあった調査結果の実践状況を1項目1件で表にあらわしたもので、横に長く伸びていれば多くの取り組みがなされているものとなる。
- ・1つの実践団体が実施する状況の頻度を加味していないので、一概にそれだけで比較されるものではないが、一応の目安になると考える。
- ・以上を踏まえたうえで、表をご覧ください。
- ・稲毛区としては、今後も5つの基本方針と35の項目の状況を把握し、問題点の精査を進めていく方針で進める。

- ・作業部会も立ち上がり、次期5カ年計画の策定に生かされていくものとする。
- 稲毛区計画は、交流の機会や居場所づくりに関する取組項目が多く、社協地区部会や地域のボランティアを中心に、活発に活動が行われています。今後は、高齢者や子どもなど対象者を絞った交流ではなく、多世代交流や障害者との交流などの活動が多く実施されることが望まれる。
- 市の助成制度を活用し、緊急時の支援体制づくりや防災、防犯マップづくりが、社協地区部会を中心に多く実践されている。大規模災害時などは地域の力が必要であり、今後も活発な活動が望まれる。
- 表の類型においては、取組の実践が無い項目が4類型ある。区計画見直し過程においては、他区の地域福祉計画を参考にするなどして、新たな取組項目の項目立ての必要性などを検討することも必要。

### ～質疑応答～

委員長：何かご質問、意見があるか。

質疑応答は特になし。

委員長：表より補助金の付いたものについては活発に活動されていると読み取れる。グループ検討の参考にさせていただければよいとか考える。

### 議題（2）第1回稲毛区地域福祉計画推進協議会作業部会の報告について

「第1回稲毛区地域福祉計画推進協議会作業部会について」以下のとおり報告した。

11月9日作業部会を開催した。

計画の見直しにあたり、短期間に効率よく検討を行うため、作業部会を設置した。

メンバーは、鈴木委員長、原田副委員長、松川副委員長、生島委員、松原委員、山崎委員、矢田委員、の7名と、事務局（保健福祉総務課1名、稲毛区福祉サービス課2名、社協稲毛区事務所2名）計12名の構成。

作業部会の名称については、次回以降の開催で決めることとなった。

第1回作業部会では、座長の選出を行い、松原委員を座長に選出した。

計画の見直しについては、

- ・地域福祉計画全体の意見に関しては、地域福祉計画と現実の活動との接点がなかなか見られない。
- ・計画に盛り込まれていることをうまく実践できるシステムが作れないのか。
- ・地域福祉計画を地域の方にもっと理解して貫うことが必要ではない。
- ・地域におけるコーディネート組織が必要ではないか。

計画自体の見直しについては、

- ・自治会の活動状況について把握し切れていないのではないか。
- ・担い手について明確化を行うべきではないか。

・稲毛区の特徴に合わせて優先した取組について考え、見直しを行うべきではないのか。等の意見が出された。

事務局より4つの見直し方針を提示。

1. 市福祉計画と区地域福祉計画の役割分担の整理
2. 現状に則した修正
3. 区計画のメリハリ
4. 担い手の明確化

以上に沿い作業部会を進めていくこととする。

作業部会の日程については、3月末までに5回程度を予定している。

### ～質疑応答～

委員長：何かご質問、意見があるか。

質疑応答は特になし。

### 議題（3）稲毛区地域福祉計画の取組状況について

稲毛区地域福祉計画地区フォーラムの4つのグループに委員が分かれ、意見交換を行った。地域福祉計画の基本方針1～5について話し合い、各グループごとに発表。その後、全員で意見交換を実施。

- |                |   |
|----------------|---|
| A グループ 基本方針1・5 | 鈴木委員、松川委員、生島委員、大石委員<br>樋口委員、西脇委員        |
| B グループ 基本方針2   | 山田委員、星野委員、種池委員、渡辺(博)委員、<br>茂木委員、渡辺(志)委員 |
| C グループ 基本方針3   | 亀山委員、木村委員、原田委員、後藤委員、<br>山崎(弘)委員、        |
| D グループ 基本方針4   | 松井委員、矢田委員、武市委員、藤川委員、<br>栗田委員、山崎委員       |

主な発言内容は以下のとおり。

(委員長)：各グループごとに50分程度で意見交換をしてもらい、記録と発表者を決めて、20分程度で発表いただきたい。(1グループ5分程度)  
前回からの続きということをお願いしたい。

### ～グループ別で意見交換～

#### 各グループから発表

##### ●Aグループ【山王・草野地区】

Aグループでは、基本方針1「地域に住む人々が、お互いを知り、理解することから始めよう」

- ・地域で社協の名前が浸透していない。  
(自治会長さんの中にも名前は知っているが、理解までされていない方もいる。)
- ・住民までいくとなかなか浸透されていないのではないか。
- ・自治会費、社協会費の集め方によっては、啓発できるのではないか。
- ・地区社協の土台がしっかり把握しないといけないのではないか。

基本方針5「緊急時に備えた日頃からの取り組み」について意見交換した。

- ・自治会まで情報がしっかり届いているのか。  
との意見が出された。

### ●Bグループ【緑が丘・千草台】

Bグループでは、基本方針2「気軽に、楽しく、おしゃべりしたり、過ごせたり、活動したりするみんなの居場所づくり」について意見交換した。

- ・ふれあいいきいきサロン等を実施している。  
「メンバーが固定され、スタッフも固定されつつある」これも問題です。
- ・主婦を楽しくさせる方法（視点を変えることが大切）
- ・調理実習（自分たちでメニューを考えるとところから始める）
- ・空き店舗の活用
- ・住民流大規模団地の地域おこし（空き部屋を使ってケアシステムを作れないか）  
との意見が出された。

### ●Cグループ【轟・穴川、301（作草部・天台）、黒砂地区】

Cグループでは、基本方針3「身近なところで必要な情報を得ることができる仕組みづくり」について意見交換した。

- ・年間の進め方が解れば、ある程度自分の考えをまとめ望める。
- ・稲毛区らしさを出していければよいのではないか
- ・他区のうまく進んでいる例を明示して貫うのも一つの方法ではないか。
- ・ふらっと寄ることのできる場での情報提供は、やはり民生委員が一番情報を持っているのではないか。しかし、守秘義務等が関係し、なかなか困難ではないか。  
との意見が出された。

### ●Dグループ【稲毛・稲丘・小中台地区】

Dグループでは、基本方針4「人と人とのつながりをつくり、活かし、支え合い助け合う地域での連携プレー」について意見交換した。

- ・当日資料を渡されても内容を熟読できず、妙案はなかなか出ません。
- ・集合する場所が少ない。公民館でもエレベーターが無い箇所が存在する。
- ・他地域の活動内容を知るのは困難です。
- ・地域の一部だけでやっているのではなく、地域住民みんなで作れる活動につなげていければと考えます。  
との意見が出された。

## ～質疑応答～

委員長：何かご質問、意見があるか。

質疑応答は特になし。

### 議題（４）その他

①事務局より推進協だより第7号の発行について以下のとおり報告した。

平成21年10月19日に広報委員の生島、山崎（弘）両委員にお集まり頂き、第2回広報委員会を開催した。短期間で編集・校正までを仕上げ、貫い、予定通りに印刷・発送まで行えた。

推進協だより第8号の発行時期については、来年3月を予定している旨を報告した。

特に質問はなし。

②事務局が今後のスケジュールについて以下のとおり説明した。

今年度の稲毛区推進協議会の開催は、第4回目は2月中旬を予定している。

③委員長より作業部会への参加者の呼びかけを行った。

次回作業部会は12月15日を予定している。

参加を希望される方は、事務局まで連絡をお願いします。

委員：小中台保健センター跡施設利用の現状を知りたい。

保福総：現在の駐車場については、保育所として活用予定。

建物は、築年が経ち過ぎているので、できる限りの補修を行い、子どもルームと地域福祉の活動施設として整備したいと考えている。

オープン時期については、工事スケジュールが変動する可能性もあり、未定である。

使い勝手については、地域の皆様の要望を拝聴しながら決定していきたい。

事務局が閉会を宣し、第3回稲毛区地域福祉計画推進協議会は散会。